

お客様各位

2021年4月6日  
パスロジ株式会社

## FreeRADIUS の仕様変更に伴う PassLogic への影響について

皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、弊社の製品をご愛顧いただきましてまことに有難うございます。

このたび、FreeRADIUS の v3.0.20 から、radius の証明書の有効期限が切れた場合の動作仕様が変更され、RHEL 8 系で稼働する PassLogic エンタープライズ版 v4.3 の動作に影響することが分かりましたのでお知らせします。

### ■ 概要

FreeRADIUS の仕様変更に関する概要と、それに伴う対応方法がレッドハット社からアナウンスされておりますので、下記 URL よりご確認ください。

<レッドハット社の公式アナウンスのリンク>

<https://access.redhat.com/solutions/5767041>

### ■ 問題

FreeRADIUS の標準では、radiusd が生成する証明書の有効期限は 60 日です。

この有効期限が切れた場合、radiusd サービス停止後に起動しようとするとき失敗いたします。PassLogic の一部機能(リストア等)についても、内部で radiusd サービスの再起動を行っているため、処理が失敗いたします。

### ■ 対象

RHEL 8 / CentOS 8 を利用するお客様(PassLogic エンタープライズ版 v4.3 を利用するお客様)

※RHEL7 以前の OS (PassLogic 4.2 以前) では本問題は発生いたしません。

#### ・対応方法

以下に示す対処方法か、「概要」に示したレッドハット社のアナウンスリンクにある method2 の処置が必要となります。

※method1 の対処では 60 日後に問題が再発生するため、PassLogic では非推奨としております。

===== 具体的な対応手順 =====

```
# ワークディレクトリへ移動
```

```
cd /etc/raddb/certs
```

```
# make コマンドが使えるか確認 (0 が表示されることを確認)
```

```
make -h > /dev/null 2>&1 && echo $?
```

```
# 既存の証明書をバックアップ(任意)
cp -pr /etc/raddb/certs/ {任意のディレクトリ}

# 既存の証明書を削除
make destroycerts

# server.cnf ca.cnf を編集 (有効期限を設定する)
vi server.cnf
> default_days = (任意の有効期限日数)

vi ca.cnf
> default_days = (任意の有効期限日数)

# 証明書再作成
make all

# 証明書の作成が成功したかを確認 (成功の場合、0 が表示される)
echo $?

# 証明書の有効期限を確認
make print
```

以下のような箇所がありますので、設定した期間が反映されているかを確認してください。

```
Validity
    Not Before: Apr  5 03:05:29 2021 GMT
    Not After  : Apr  3 03:05:29 2031 GMT
```

```
# 権限を変更
chown root:radiusd dh ca.* client.* server.*
chmod 640 dh ca.* client.* server.*
```

```
# radius サービスを再起動
systemctl restart radiusd
===== ここまで =====
```

#### ■ 注意事項

- ※ make パッケージがインストールされていない場合は、あらかじめパッケージのインストールをお願い致します。
- ※ 有効期限については、運用期間を考慮した日数を設定することを推奨いたします。  
(PassLogic では利用していない証明書ですので、長くしても PassLogic 認証へのセキュリティ影響はございません。)

以上

(本件に関するお問い合わせ窓口)

パスロジ株式会社

営業部 担当：山口

E-Mail : sales@passlogy.com

TEL : 03-5283-2263

URL : <https://www.passlogy.com/>

■PassLogic 製品サイト

<https://passlogic.jp>

▼製品サポートページ

[https://passlogic.jp/ent\\_support/](https://passlogic.jp/ent_support/)